

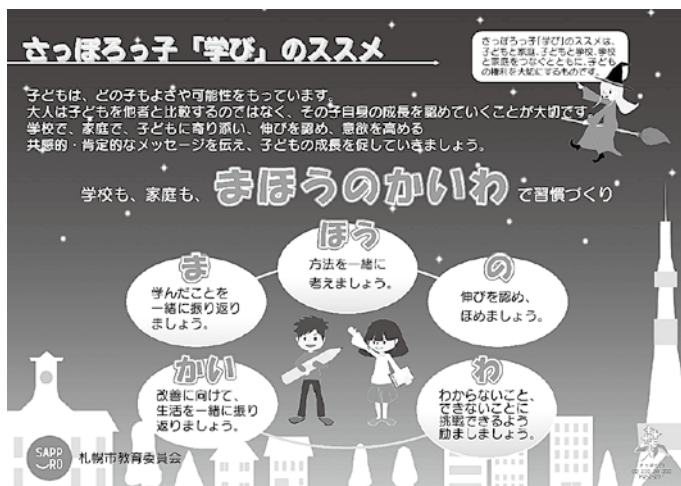
## 家庭や地域とともに進める学校づくり

### さっぽろっ子「学び」のススメ

さっぽろっ子「学び」のススメ（【幼児版】を含む）は、園や学校・家庭・地域が一体となって、子どものよさや可能性を認め、励まし、支える関わりを通して子どもの習慣づくりを進める指針となるものであり、学校と家庭・地域とをつなぐものです。

さっぽろっ子「学び」のススメでは、「学ぶ力」育成に向けた5つのポイントを家庭向けに具体化し、その頭文字を取って「まほうのかいわ」としています。学校・家庭・地域が相互に協力し、5つのポイントから、子どもの学習習慣・運動習慣・生活習慣づくり（【幼児版】は「学びの土台づくり」）を支えることによって、子どもが自ら目標をもち、粘り強く取り組むことができるようになることを目指しています。

子どもへの望ましい関わり方について共通理解を図るため、園や学校からの便りで、さっぽろっ子「学び」のススメの趣旨を伝えるほか、子どもや保護者との面談、学級懇談会やPTA集会で話題に挙げるなど、一年間を通じた活用が可能です。活用方法を工夫して学校、家庭、地域の三者が趣旨を共有し、連携して、子どもの成長を認め、自己肯定感や向上心を高めていくことは、子どもの権利を保障する取組としても重要です。



### 学校評価の活用

各学校においては、教育活動の質の向上を図るカリキュラム・マネジメントを学校評価と関連付けて実施することが重要です。

- 目指す子ども像や学校像を家庭・地域と共有するとともに、その達成に向けた教育活動、学校運営の状況について、積極的な情報提供に努めます。
- 教育目標等を達成するために必要な評価項目・指標等を精選して設定し、教育活動、学校運営の状況について自己評価を行うとともに、保護者や地域住民の意見も反映して改善につなげます。



学校評議員等に学校運営方針を説明

### 家庭や地域社会との連携及び協働

各学校においては、家庭や地域の人々とともに子どもを育てていくという視点に立ち、家庭、地域社会との連携を深め、学校内外を通じた子どもの生活の充実と活性化を図ることが大切です。

- 家庭や地域社会の人々と意思疎通を図り、地域の教育資源や学習環境を積極的に活用します。
- 学校での学びを生かして、地域の様々な人々との世代を越えた交流を図ります。
- 「小中一貫した教育」のパートナー校で、学校関係者評価委員を共通化したり、地域人材の調整をしたりするなど効果的、効率的な連携及び協働に努めます。



地域の農家の方と水田を観察する中学生

教員一人一人にとって、教職生活全体を通じて実践的指導力等を高めるとともに、社会の急速な進展の中で、知識・技能の絶えざる刷新が必要であることから、各学校において「学び続ける教員」として主体的に研修に取り組み、教員一人一人の職責、経験及び適性に応じた、資質・能力の更なる向上に向けた取組を推進します。

s ^ φ w { Š " - » p

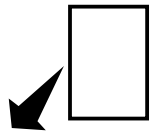
- 教育者として、強い使命感・倫理観と、子どもへの深い教育的愛情を、常にもち続けている教員
- 教育の専門家として、実践的指導力や専門性の向上に、主体的に取り組む教員
- 園・学校づくりを担う一員として、地域等とも連携・協働しながら、課題解決に取り組む教員

s ^ φ - » - R ! ^ a w Æ ; q @ L \$ s Z € ~ Z . t ' " ¿ í ~ Ó — w ² Í

札幌市教員育成指標【教員編】

「教員育成指標」は、札幌市の教員一人一人の資質・能力の向上を目指して策定したものであり、教員の目指す姿を示しています。

- ・管理職及び教員が自身の身に付けるべき資質等を理解し、研修計画を立てる際の参考にしたり、研修を振り返ったりする際の目安として活用
- ・管理職が個々の教員に対して、研修計画に関する助言をする際の参考として活用
- ・各園・学校や教育委員会等が、研修の企画を行う際の目安として活用



各園や学校の実態に即して、柔軟な授業を実施するとともに、同様に適切な対応をしている。

豊富な経験から身に付けた確かな指導技術等を生かし授業実践をするとともに、同様に適切な対応をしている。

子どもの育ちの状況から授業を見つめ直し、自らの授業改善を図るとともに、同様に適切な対応をしている。

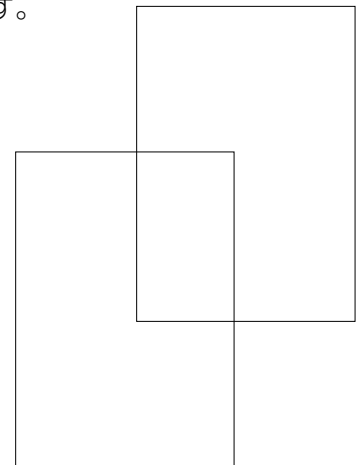
子どもによりよい教育を提供するためには、研修による教員の資質・能力の向上は欠かすことができません。管理職をはじめ、全ての教員が協働して取り組む意識がとても大切です。

「研修案内」や「校内研究・研修の手引」「校内研究・研修のススム」(動画資料)等を活用し、校内外における研究・研修を計画的・効果的に行い、教員の資質・能力の向上を図ります。

【札幌市教育研究推進事業(札幌研事業)】

- 今年度の重点1【授業改善】  
「分かる・できる・楽しい授業づくりの充実」
- 今年度の重点2【人材育成】  
世代(キャリアステージ)をこえて結び付く「研究体制」の充実

◇「札幌研事業」を資質・能力の向上のために  
春・秋の「研究集会」や「学習会」等を各学校において研修計画に位置付け、専門性を深めるなど、本事業を教員一人一人の資質・能力の向上のために、積極的に活用します。



校内研究・研修の手引と研修案内

信頼される学校の創造